

公立学校施設の整備

令和3年度要求・要望額 1,295億円 + 事項要求
(前年度予算額 695億円、臨時・特別の措置 470億円、補正予算額 57億円)

新しい時代の学びを支える安全・安心な教育環境の実現～令和時代の学校施設のスタンダード～

- ◆ 学校施設は我が国の将来を担う児童生徒の学習・生活の場であり、より良い教育活動を行うためには、その**安全性・機能性の確保は不可欠**。
- ◆ ポストコロナの「新たな日常」の実現に向けて、学校においても**感染症対策と児童生徒の健やかな学びの保障を両立**していくことが必要。

令和時代の学校施設のスタンダード

1 「新しい生活様式」も踏まえ、健やかに学習・生活できる環境の整備

- 空調設置（教室、給食施設）
- トイレの洋式化・乾式化
- 給食施設のドライシステム化

2 個別最適な学びを実現する施設環境の整備

- バリアフリー化、特別支援学校の整備
- 一人一台端末環境への対応
- 少人数指導体制への対応 <事項要求>

3 多様な学習活動に対応する施設環境の整備

- 施設の複合化・共有化と有効活用
- オープンスペースや少人数学習に対応するための内部改修

防災・減災、国土強靱化 <事項要求>

災害・事故等から子供たちの生命を守る

- 子供たちの生命を守り、地域の避難所となる**安全・安心な教育環境の実現**
(体育館の空調設置、防災機能強化等)
- 計画的・効率的な**長寿命化を図る老朽化対策**
(長寿命化改修へのシフト、公的ストックの最適化)

体育館の断熱性を確保し空調を設置
避難所機能としても有効活用

バリアフリー化により
誰もが安心して学べる場に

普通教室・特別教室に空調を設置し、
子供たちの安全な教育環境を確保

トイレを洋式化・乾式化し、衛生環境を確保

ドライシステム化され、空調が整備された給食施設
災害時にも有効活用（都市ガス、プロパンガスの2WAY化など）

一人一台端末環境のもと
個別最適な学びの環境を整備

オープンスペースなど自由度の高い空間を整備し、
3密を解消した学習の場として有効活用
対話的・協働的な学習として多様な学習スタイルに対応

具体的な支援策

- **制度改正**：複合化施設の一部補助対象化、廃校施設の撤去費補助拡充、バリアフリー化工事への補助拡充、給食施設の空調設置 等
- **単価改定**：対前年度比 +9.1%
- **実践研究**：「新しい時代の学び」対応型学校の先導的モデルの開発支援
- **好事例の横展開**：先進事例の発掘、表彰制度の創設等

国立大学・高専等施設整備

令和3年度要求・要望額 820億円+事項要求

(前年度予算額 361億円、臨時・特別の措置 430億円、補正予算額 46億円)



文部科学省

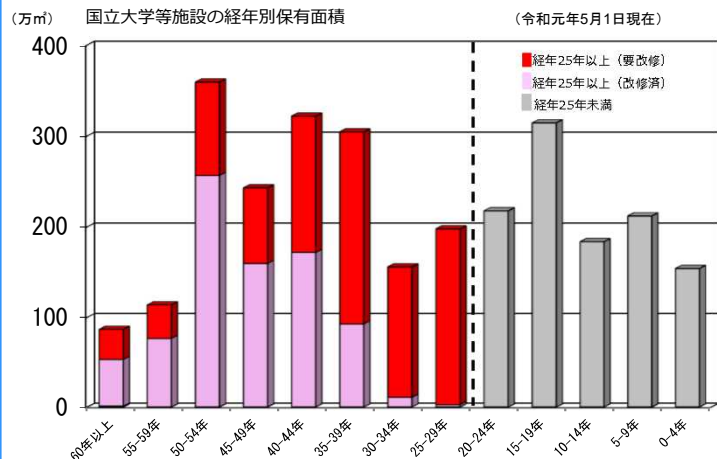
事業概要

国立大学等の施設は、将来を担う人材の育成の場であるとともに、地方創生やイノベーション創出等教育研究活動を支える重要なインフラである。一方、著しい老朽化の進行により安全面・機能面で大きな課題が生じている。

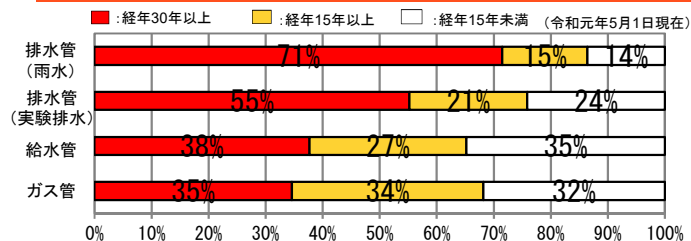
このため、**キャンパスにおける「共創」を推進**するため、**老朽化した大学等の教育研究施設や高専の校舎・学生寮等のインフラを戦略的リノベーション等により計画的・重点的に整備**するとともに、**「新たな日常」においても充実した教育研究の場を確保するため、整備を推進**する。

現状

建築後25年以上の建物のうち要改修建物は約5割



経年30年以上でライフラインの事故発生率が急増



課題

- ◆老朽化が原因で施設及びライフラインの故障や事故が増加、教育研究基盤の弱体化
- ◆経年による施設の機能陳腐化等に起因する教育機能低下、研究者等の人材流失、最先端研究の遅れ

取組

◆機能強化等

- 高度化・多様化する教育研究活動への対応
- 長寿命化促進事業
- 大学附属病院の再生整備

◆感染症研究環境整備

- 治療薬・ワクチン開発等の感染症対策に資する研究開発等の場の整備

◆「新たな日常」に対応した環境改善整備

- 換気・空調・トイレの環境改善整備

◆防災・減災、国土強靱化(※事項要求)

- 非構造部材を含む耐震対策・老朽改善
- ライフライン再生

効果

**質の高い安全な
教育研究環境の確保**



異分野間での共同研究とフレキシブルな施設利用が可能なオープンラボ



先端IT人材の育成のために必要な
機器を備えた実験スペース



シェアハウス型国際寮

事業スキーム

補助事業(補助率:定額)



私立学校施設・設備の整備の推進の概要

令和3年度要求・要望額 349億円 + 事項要求
(前年度予算額 100億円)



私立学校施設整備費補助金（他局計上分含む）	282億円（ 67億円） [50億円] 《3億円》
私立大学等研究設備整備費等補助金	56億円（ 25億円）
私立学校情報機器整備費補助金	3億円（ 0億円） 《7億円》
私立学校施設高度化推進事業補助金	8億円（ 8億円）
<他に、財政融資資金 291億円（291億円）>	

（ ）は前年度予算額、[]は令和元年度補正予算額、《 》は令和2年度第一次補正予算額

※前年度予算額は、「臨時・特別の措置」（防災・減災、国土強靱化関係）43億円を除く。

1. 耐震化等の促進 47億円（47億円） [44億円] 【そのほか国土強靱化関係予算は事項要求】

- 学校施設の耐震化完了に向けた校舎等の耐震改築（建替え）事業及び耐震補強事業、そのほか防災機能強化を更に促進するための非構造部材の落下防止対策等の整備を重点的に支援。
- 令和2年度までとなっている耐震改築への補助制度を2年延長。

耐震改築（建替え）事業	14億円
耐震補強事業	27億円
その他耐震対策事業	6億円

【耐震化未完了の建物が大規模地震で甚大な被害を受けた例】



2. 教育・研究環境の整備 302億円（53億円） [6億円] 《10億円》

感染症対策を含む安全・安心の確保のための施設等の整備及び各学校の個性・特色を生かした教育研究の質の向上のための装置・設備の高機能化等を支援。

- 感染症対策を含む安全・安心な生活空間及び学修機会確保に必要な基盤的施設等の環境改善整備を支援（私立学校施設環境改善整備 184億円）。
- 私立学校の個性・特色を生かした教育研究の実践のため、教育研究基盤となる設備・装置の整備を支援（私立大学等教育研究装置・設備 83億円）。
- 全ての子供たちの学びの保障のため、私立高等学校等におけるICT環境の整備を支援（私立高等学校等ICT教育設備整備費 30億円）。
- 少人数によるきめ細やかな指導体制を支援〔事項要求〕



【空調設備・換気設備を備えた教室】

新型コロナウイルス感染症対策として空調・換気設備を整備し、クラスター発生リスクを低減



【生体分子間相互作用解析システム】

研究：生体機構や疾患時の薬物作用機序を分子レベルで解明。解析結果は新薬の開発等に大きく寄与。



【コンピューター室】
高等学校等のICT環境整備

※単位未満四捨五入のため、計が一致しない場合がある。